

【SR-9 定性的システマティックレビュー】

CQ	CQ04b	がん患者に中心静脈デバイス(CV, PICC, CVポート、PICCポートなど)を留置する際、どれが推奨されるか
P	抗癌剤投与される患者	
I	PORT	
C	PICC	
臨床的文脈	治療時の中心静脈ルートの確保	

01	PICC vs PORTのDevice Failureの出現頻度	
非直接性のまとめ	CQに対する回答として問題ないものとする	
バイアスリスクのまとめ	文献が1つしかないが、症例数は両群ともに200例前後と確保されているため、信頼性はある程度担保されていると考える。	
非一貫性その他のまとめ	文献が1つしかなく、非一貫性については評価困難である。	
コメント	CQ-E8のみがDevice Failureを正確に評価されていた。	

02	PICC vs PORTの感染症の出現頻度	
非直接性のまとめ	CQに対する回答として問題ないものとする	

バイアスリスクのまとめ	特に問題となるバイアスはないと考える。
非一貫性その他のまとめ	文献ごとの乖離や最終結果との乖離はなく、問題はないと考える。
コメント	

03	PICC vs PORTの血栓症の出現頻度
非直接性のまとめ	CQに対する回答として問題ないものとする
バイアスリスクのまとめ	特に問題となるバイアスはないと考える。
非一貫性その他のまとめ	文献ごとの乖離や最終結果との乖離はなく、問題はないと考える。
コメント	

04	PICC vs PORTのカテーテル関連有害事象の出現頻度
非直接性のまとめ	CQに対する回答として問題ないものとする
バイアスリスクのまとめ	特に問題となるバイアスはないと考える。
非一貫性その他のまとめ	文献ごとの乖離や最終結果との乖離はなく、問題はないと考える。
コメント	